

「急性 A 型肝炎に罹患した HIV 感染者の臨床的特徴の解析」

平成 30 年 8 月

【研究の目的と方法】

急性 A 型肝炎は、ウイルスが口から入ることで感染し、発展途上国などで蔓延している感染症で、中には肝不全を起こし、命の危険を伴うことのある病気です。

HIV 感染者が急性 A 型肝炎を合併した場合に、どのような臨床的な特徴があるのか、調べることにいたしました。

また、急性 A 型肝炎は、近年、性感染症としての側面があり、世界的にも流行が知られております。東京では 1999 年前後、そして 2018 年にも流行が把握されております。

東京大学医科学研究所附属病院は、1986 年から HIV 診療を開始しており、当院の診療録を用い、各々の流行時期に罹患した患者様の肝機能障害の程度などを調べ、HIV 感染者が A 型肝炎に罹患した際の進行予測など患者様の診療に役立てることができると考えております。

【対象となる患者様とご協力いただきたいこと】

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科(旧エイズ診療部を含む)において1986年1月以降に診療を受けたHIV患者様のうち急性A型肝炎を罹患した患者様(既に亡くなった方々も含みます)の診療情報(年齢、性別、血中 HIV ウイルス量、CD4 陽性細胞数、A 型肝炎抗体価、肝機能、治療内容、転帰等)を本研究に使わせていただくことです。

【研究期間】

2018 年 8 月 3 日(所長・病院長許可)～2021 年 9 月末

【個人情報保護の方法】

診療情報は、この研究のもとで付された符号により厳重に管理し、研究に用います。

【研究参加による利益・不利益】

利益・・・本研究にご協力いただくことで、患者様に直接的に利益となるようなことはありませんが、HIV 感染患者様の A 型肝炎合併時の診断・治療の一助になることが期待できます。

不利益・・・保存されている診療情報のみを用いるためご負担をおかけすることはありません。

【研究協力の辞退について】

本研究にご自身の診療情報が使用されることを辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。辞退の連絡を受けた場合、患者様の診療情報を本研究の対象から取り除きます。辞退のお申し出により、不利益が患者様に生じることはありませんのでご安心ください。但し、辞退のご連絡を受けた時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もありますことをご了承ください。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者様の個人情報には厳重に守られますので、第三者に患者様の個人情報が明らかになることはありません。

本研究は、本研究所の倫理審査委員会の審査と、所長及び病院長の承認を得ていることを申し添えます。

本研究についてのご質問、あるいは、本研究への診療情報の使用について辞退されたい場合などは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。また、本研究について詳しくお知りになりたい場合には、研究計画書等の資料をご覧いただけますので（但し、他の対象者等の個人情報や知的財産の保護等に支障がない範囲内で）、下記の窓口までご連絡ください。

連絡先:

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症分野/附属病院感染免疫内科

四柳 宏

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1

電話: 03-5449-5338, Fax: 03-5449-5427

E-mail: yotsudid@ims.u-tokyo.ac.jp